

改訂内容

○ 令和6年能登半島地震等における課題及び取組みの反映

各構成府県市への「令和6年能登半島地震に対する支援を踏まえたアンケート」の結果及び令和6年6月に修正された防災基本計画を踏まえて、関西防災・減災プランの見直しを行う。

国の令和6年能登半島地震を踏まえた災害対応検討WGにおける検証、各構成府県市における検証が継続中であることから、今年度は上記のみの反映とし、各検証の結果の反映は来年度以降に行う。

スケジュール

時期	項目	内容
R6. 10. 18	関西広域防災計画策定委員会幹事会	プラン改訂中間案協議
R6. 10. 28	関西広域防災計画策定委員会	プラン改訂中間案協議
R6. 11. 21	関西広域連合委員会	プラン改訂中間案協議、パブコメ実施の報告
R6. 12. 14	関西広域連合防災医療常任委員会	プラン改訂中間案協議、パブコメ実施の報告
R6. 12～R7. 1	パブリックコメントの実施	
R7. 1	関西広域防災計画策定委員会	プラン改訂最終案協議
R7. 1. 23	関西広域連合委員会	プラン改訂最終案協議
R7. 3. 1	広域連合議会	プラン改訂議案議決

主な改訂内容

能登半島地震において顕在化した課題

情報収集・通信

■孤立地域が発生した際の被害情報の収集・通信手段の方法等

- ・課題: 孤立集落における情報収集・通信手段の確保
- ・対応: ドローン・衛星通信(スターリンク)・衛星写真等の新たな技術の活用やドローン事業者との協定締結

物資調達・輸送

■効率的に仕分けや搬入搬出を行うための物資拠点の運営体制

- ・課題: 既存の拠点の体制整備の見直し
- ・対応: 各拠点において効率的な運営ができるよう、民間事業者等とのより一層の連携

■被災地の物資拠点または避難所への輸送手段の確保

- ・課題: 道路寸断時の輸送手段の確保。
- ・対応: ドローンや小型船舶等の空路や海路の活用を検討
・ヘリ離発着場所の拡大の検討

人員・物資の輸送

■道路寸断時の啓開の対応策

- ・課題: 道路啓開計画の策定・見直しや啓開作業に必要な資機材等の確保
- ・対応: 同計画の策定・見直しによる実効性の向上を図り、道路管理者との円滑な連携による速やかな啓開作業の実施

■空路や海路の活用に向けた方策

- ・課題: 道路寸断時の空路や海路による人員・物資の輸送
- ・対応: 海運・航空事業者、空港・港湾事業者との協定締結の拡充



応援職員の活動環境確保

■宿泊先の確保

- ・課題: 宿泊施設が少なく、宿泊場所の確保が困難
- ・対応: キャンピングカー等の宿泊可能な車両の確保や旅行事業者との連携



応援派遣制度

- ・課題: 応急対策職員派遣制度(総務省)等と関西広域連合の応援の枠組みが並行したことにより、派遣先市町において円滑な応援業務に支障が発生
- ・対応: 現地支援本部と各市町に派遣した現地連絡所の役割分担・連携体制の明確化

避難所運営

■簡易ベットなど住居環境の整備に向けた物資の確保対策

- ・課題: パーティションや段ボールベット等設置によるプライバシー空間の確保
- ・対応: 構成府県市間での備蓄・保有数の共有



■断水による支援策(トイレ、風呂、洗濯)

- ・課題: 長期断水に伴い生活用水が確保できない
- ・対応: 構成府県市が保有する移動型車両等の資機材の数や種類の共有
トイレカー・ランドリーカー等の移動型車両や水循環型シャワーを保有する民間事業者との協定締結の検討

■ホテル・旅館等への2次避難

- ・課題: 円滑な2次避難の実施
- ・対応: 避難場所としての旅館・ホテル等の受け入れ可能者数の把握 民間事業者との協定拡充

これまでの支援活動に対する評価

リエゾン

- ・良点: Web会議システムを活用し、関係団体と情報共有・意思統一がスムーズに実施
- ・課題: 派遣先市町における総括支援チームとの関係性や広域連合の立ち位置について整理が必要
- ・対応: 現地支援本部と各市町に派遣した現地連絡所の役割分担・連携体制の明確化

避難所運営

- ・良点: 自治体や民間事業者等による移動型トイレ車両の応援
- ・課題: 避難者情報の避難所運営側と支援側での乖離
- ・対応: 避難所以外で避難生活を送る避難者等への支援



上下水道復旧

- ・良点: 日本水道協会に支援窓口の一元化したことによる効率的な役割分担の実施
- ・課題: 水道台帳等の不備等により調査業務に多大な時間を要した
- ・対応: 事前の復旧作業の体制づくり



住家被害認定調査・罹災証明交付・義援金・公費解体

- ・良点: 被害認定用タブレットによる調査の円滑化
- ・課題: 人員不足(避難所運営の人員のシフトの遅れ)
- ・対応: 調査業務の効率化の検討



医療

- ・良点: DMAT、DPAT、DHEAT、災害支援ナース等が活躍
- ・課題: 人員不足、派遣や受入の体制が不十分
派遣先がカウンターパートの支援自治体と異なる
- ・対応: 応援職員の派遣先の調整にかかる国等との連携の強化



福祉

■災害派遣福祉チーム(DWAT)

- ・良点: 初めて全国的なDWAT派遣を実施し、長期的な支援を実施
- ・課題: 派遣や受入の体制が不十分
- ・対応: DWATの体制強化に向けた訓練や迅速な派遣に向けた連携強化

その他(カウンターパート方式による支援全般)

■派遣の調整

- ・課題: 複数の応援派遣制度が並行して適用され、派遣先が複数となることで、派遣業務、報告事務等が複雑化
- ・対応: 応援職員の派遣先の調整にかかる国等との連携の強化
関西広域連合の域内における応援・受援の体制強化

■物資輸送体制

- ・課題: 市町村独自の判断による物資輸送が多発
- ・対応: 避難所のニーズに応じた物資の需給調整



消防

- ・良点: 海上保安庁や自衛隊と連携した、船舶や航空機での人員の輸送
- ・課題: 情報収集・共有に苦慮
- ・対応: 迅速な部隊輸送を目的とした、関係機関との協力体制の構築

